

被保険者番号

被保険者氏名

受領委任払いに係る明細書（住宅改修）

		施行事業者記入欄	保険者記入欄
①	介護保険対象工事に係る改修費の総額	円	円
②	介護保険利用限度額	円	円
	①のうち介護保険適用額	円	円
③	②以下の金額の場合は①の金額を記入し、 ②を超える金額の場合は②の金額を記入する。		
	保険給付額（1円未満切捨て）		
④	$\begin{array}{r} 0.9 \\ 0.8 \\ \text{③} \times 0.7 \\ 0.6 \end{array} =$	円	円
	本人負担額		
⑤	$\text{①} - \text{④} =$	円	円

保険給付するのは、本人負担額全額の支払後です。

このため、⑤本人負担額に誤りがある場合は、正しい本人負担額が支払われた後の支給決定となります。

記載例

受領委任払いに係る明細書（住宅改修）

【記載例1 改修費が利用限度額以下の場合】

		施行事業者記入欄
①	介護保険対象工事に係る改修費の総額	150,000 円
②	介護保険利用限度額	200,000 円
③	①のうち介護保険適用額	150,000 円
	②以下の金額の場合は①の金額を記入し、 ②を超える金額の場合は②の金額を記入する。	
④	保険給付額（1円未満切捨て）	
	③ × 0.9	= 135,000 円
	0.8	
	0.7	
	0.6	
⑤	本人負担額	
	① - ④	= 15,000 円

介護保険対象工事の金額を記載

① ≤ ②なので
①を記入

該当するところに○をつける

【記載例2 改修費が利用限度額を超える場合】

		施行事業者記入欄
①	介護保険対象工事に係る改修費の総額	220,000 円
②	介護保険利用限度額	100,000 円
③	①のうち介護保険適用額	100,000 円
	②以下の金額の場合は①の金額を記入し、 ②を超える金額の場合は②の金額を記入する。	
④	保険給付額（1円未満切捨て）	
	③ × 0.9	= 90,000 円
	0.8	
	0.7	
	0.6	
⑤	本人負担額	
	① - ④	= 130,000 円

残っている利用限度額を記載

① > ②なので
②を記入

提出する領収書の金額と一致